

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	散歩では挨拶を励行し、近所の方から庭に咲いている花を頂くこともある。近所のスーパーや懐かしい八百屋での買い物等で交流を図っている。また、近隣のボランティアによる散歩の同行、料理の補助、見守りの協力があり、地域の方をクリスマス会に招待し、相互に馴染みの関係をつくっている。同法人経営の高坂幼稚園の園児の月1回の訪問は入居者の楽しみであり、実習生の受け入れもしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	外部評価の結果、近況報告、今後の予定等を報告している。概ね2カ月に1回開催しており、その中で2回ほどそば打ちやクリスマス会の場もあった。ホームの様子、入居者の様子を見てもらい、意見をいただきサービスの向上に活かしている。12月開催時には2月設置のスプリンクラーや料金改定の説明も行った。参加メンバーの口添えで地域との交流が拡大している。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	昨年、天白グループホーム連絡会を立ち上げ、会議や親睦会の場で区の福祉課職員と連携を図っている。「てんばくの施設がわかる本」を作成し、区役所に置いてもらったり、管理者は社会福祉協議会主催の家族教室の講師を務めたりしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	奇数月には入居者の様子を書いた個別ノートで近況報告をし、偶数月には行事の写真や予定を載せたホーム通信「メモリーズ」を配布している。家族等が気軽に来訪できるような雰囲気づくりを心がけ、コミュニケーションを図っている。玄関に意見箱を設置しているが利用はない。家族会はないが、行事への参加呼びかけで家族同士の交流を心がけている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議のメンバーは入居者家族、元民生委員、元消防団長、同業のグループホームの施設長、地域包括支援センター、管理者、ケアマネジャーである。設立後5年が経過し、会議で出された意見をもとに地域の方へ口添えしてもらい、近隣の小学校との交流、学区の敬老会の参加、散歩ボランティアの活用等が実現した。区内にはグループホーム等福祉施設も多いが、空き情報が得られないとのことから以前立ち上げた南東部グループホーム交流会よりもっと絞りこんだ天白グループホーム連絡会を結成した。ネットワークを活かして交流会を深め合い、区民へ情報提供したり、区福祉課との協力体制も築かれている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。